

学生募集

2012年度入試結果について

2012年度入試の志願者数は8万4,940名となりました。昨年度より1,200名あまりの減少となりましたが、私立大学志願者数ランキングでは昨年度より順位を1つ上げ、明治大学、早稲田大学、立命館大学、法政大学に次いで大学別第5位となりました。

長引く不景気や東日本大震災の影響もあってか「国公立志願者の増加」「安全志向（堅実な志望校選択）」「地元志向」の流れがますます強くなってきています。同規

模他大学の多くが志願者を減らすなか、新潟会場の新設、文学部統一入試の参入およびセンター単独方式後期選考導入など入試改革の成果もあり、本学における志願者の減少は比較的小さいものとなりました。

なお、本学は地域別の志願者数割合において、主要私立大学の中で全国から最も志願者を集めている大学（全国型大学）のひとつとなっています。この実績をますます盤石なものとするため、今後も各種の施策を実施してまいります。

学部	一般入試	統一入試	センター併用	センター単独	合計	前年比
法学部	7,531	2,220	2,649	4,056	16,456	▼2,958
経済学部	7,425	1,404	2,850	5,745	17,424	508
商学部	4,987	1,112	848	5,036	11,983	▼1,867
理工学部	10,382	-	2,122	6,587	19,091	599
文学部	6,416	1,318	-	7,038	14,772	2,477
総合政策学部	1,768	731	838	1,877	5,214	26
学部合計	38,509	6,785	9,307	30,339	84,940	▼1,215

学生募集に向けた取り組み

全国16都市に設置の試験会場など、自分にあった条件で選択できる多様な入試制度

18歳人口が減少する一方で、4年制大学への進学率は18歳人口ピークの1992年の約2倍に増え、結果的に大学への入学者数は増えています(表参照)。これに比例して大学数も増加し、現役進学者が増えて大学生全体の質の低下が懸念されています。また、定員を満たせない大学が全体の4割にもなり、選ばれる大学とそうでない大学の二極化が顕著になっています。

このような厳しい大学間競争の中、

中央大学はグローバルな観点から質・量ともに優秀な入学志願者を確保することに全力を挙げ、①全国型の学生募集を堅持、②海外からの優秀な学生の確保、の2点を柱に学生募集に取り組んでいます。

具体的には、2013年度入試から、統一入試・理工学部センター併用方式(理数選抜入試)会場として水戸・静岡・長野・高松・那覇を増設、北海道から沖縄まで16都市17会場で幅広い志願者の確保

受験可能な都市一覧

札幌 ● 仙台 ● 水戸 ● さいたま ● 千葉 ● 東京(多摩・後楽園) ● 横浜 ● 新潟 ● 長野 ● 静岡 ● 名古屋 ● 大阪 ● 広島 ● 高松 ● 福岡 ● 那覇

に努めています。

また、外国人留学生の学生募集活動も国際交流センター(7月から国際センター)の支援の下で入学センターが一元的に実施することとなり、国内同様に海外から多様な留学生の獲得を目指します。

学生募集に際しては、国内外に展開する本学の幅広い人的ネットワークが不可欠であり、入学センターでは全国に広がる本学出身の教員や、海外で活躍する卒業生、さらには国内各地で活発に活動している父母連絡会支部の協力も仰ぎながら、中央大学の魅力を広く伝えたいと考えています。

■ 文部科学省「学校基本調査」より

年度	18歳人口	進学率	入学者数	大学数	現役志願率
1992	2,049,471	26.4%	541,604	523	54.2%
2011	1,201,934	51.0%	612,000	780	76.2%